

長崎県

波佐見焼サクセッサー養成講座

×

東北芸術工科大学



<http://www.hasamiyaki.com/succeser.html>

波佐見焼を
つくるための道具
それを使う職人さんたち
現場を体験できます。

場所

東北芸術工科大学 陶芸棟

日時

9月21日(土) 9:00

内容

午前 座学

午後 実演

○開会式 9:00～9:15 (15分)

①波佐見焼の歴史 9:15～10:00 (45分)

講師：波佐見町教育委員会 中野雄二



本講座では、主に発掘調査で明らかにされた成果をもとにしながら、江戸時代を中心とした波佐見焼の歴史についてご紹介いたします。現代まで受け継がれてきた波佐見焼の豊かで奥深い歴史を少しでも知っていただければ幸いです。

②波佐見焼の製造工程 10:10～10:55 (45分)

講師：長崎県窯業技術センター 吉田英樹

③流通とデザイン 11:00～12:00 (60分)

講師：東京西海 阿部薫太郎 (陶磁器デザイナー)
西海陶器 児玉賢太郎 (代表取締役社長)

質疑応答

西海陶器オリジナルブランド



essence
エッセンス



Common
コモン



HASAMI PORCELAIN
ハサミポーセリン



④実演・体験 13:00～15:30 (2時間30分)

6つの製造工程の実演を見学&体験

- ①石膏型 ②排泥鑄込み ③機械ロクロ
- ④圧力鑄込み ⑤手ロクロ ⑥絵付



① 石膏型

同じ形のやきものを量産するためには成形用の型が必要です。やきものは水分を多く含んだ陶土が原料のため吸水性のある石膏が最適です。加工しやすく強度もちょうどよい石膏は非常に優れた材料です。



② 排泥・圧力鑄込み

鑄込み成形法には、排泥鑄込みと圧力鑄込みがあります。排泥鑄込みは中空の石膏型に泥しよう(液状土)を流し込んで成形します。圧力鑄込みは石膏型に圧力を加えながら泥しようを注入し、成形します。



③ 機械ロクロ

電気モーターで回転させる台に石膏型をセットして、陶土をコテで抑えながら形づくる方法です。飯碗や皿などを同一形状で大量に生産する場合に、このような成形方法が採用されます。



⑥ 絵付

筆を使った絵付には「ダミ」「線描き」などがありますが、その他に量産に適した「パッド印刷」「判子」など様々な手法で絵付が施されています。

⑤移住と仕事について&質疑応答

15:45～16:45 (60分)

卒業生 長瀬渉と阿部薫太郎による波佐見移住と仕事(活動)について学生とのトークディスカッション